

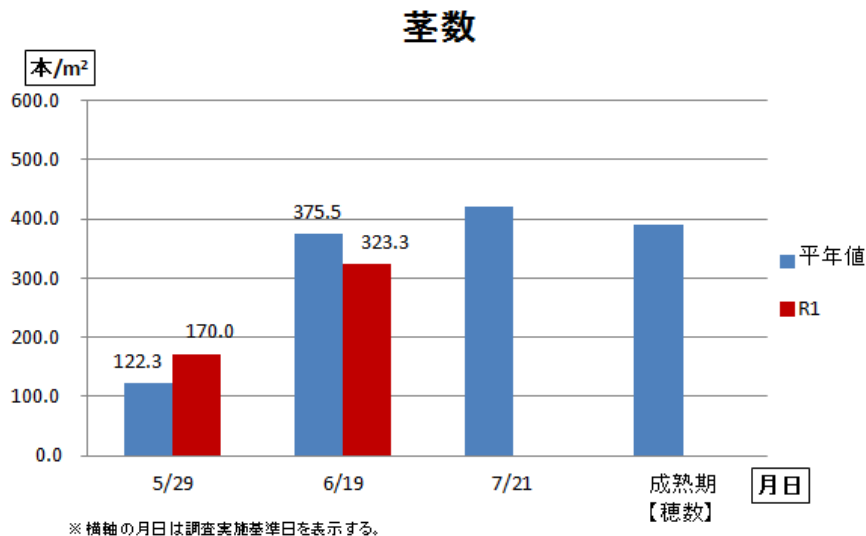
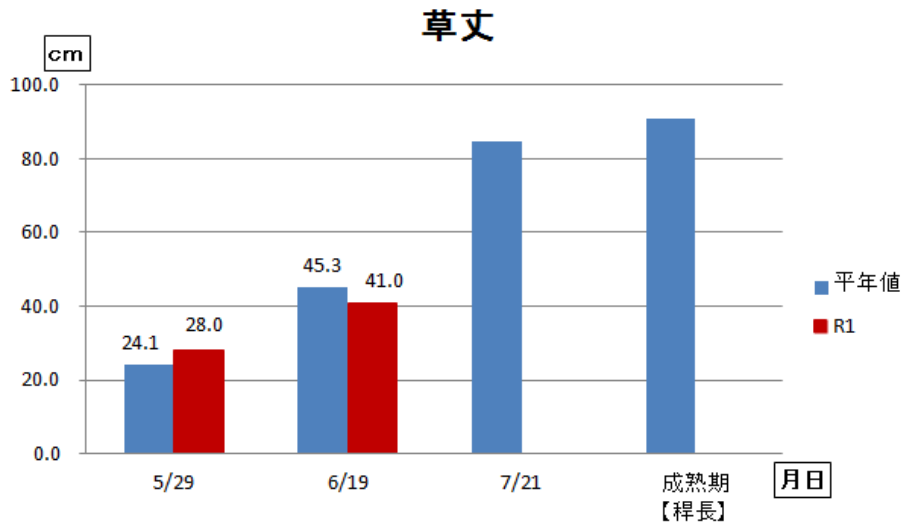
令和元年度 農作物（水稻）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稻の生育状況を調査し、気象・病害虫発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

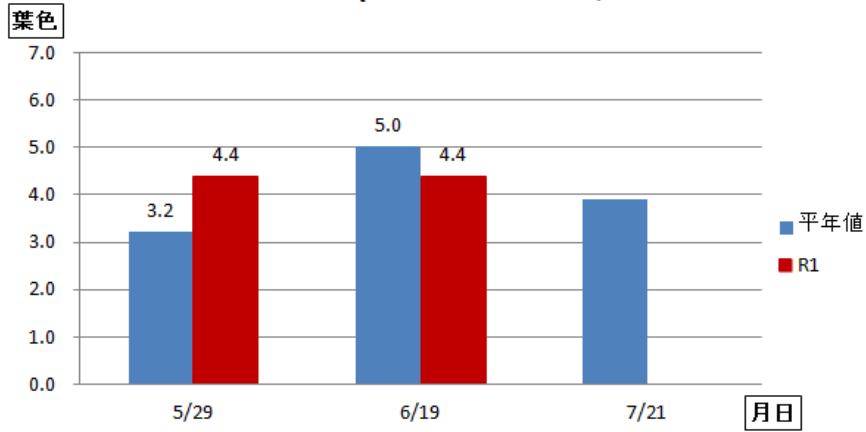
1. 水稻の生育および病害虫発生調査結果（第2回）

1) 水戸市の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月18日	6月20日

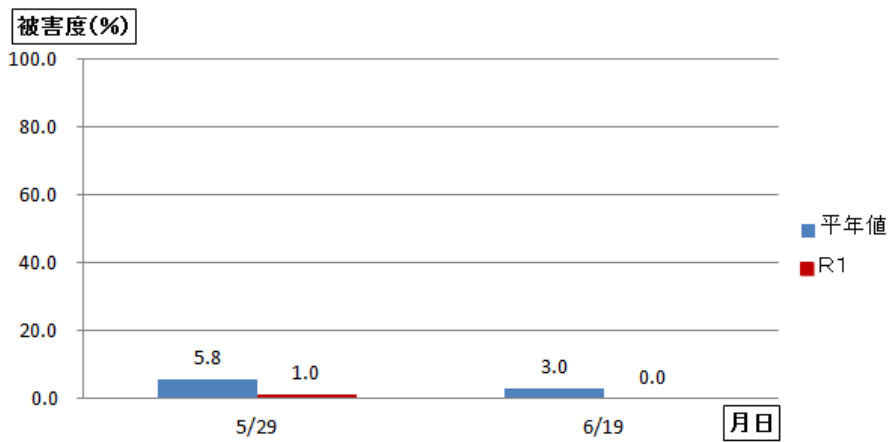


葉色(カラスケール)



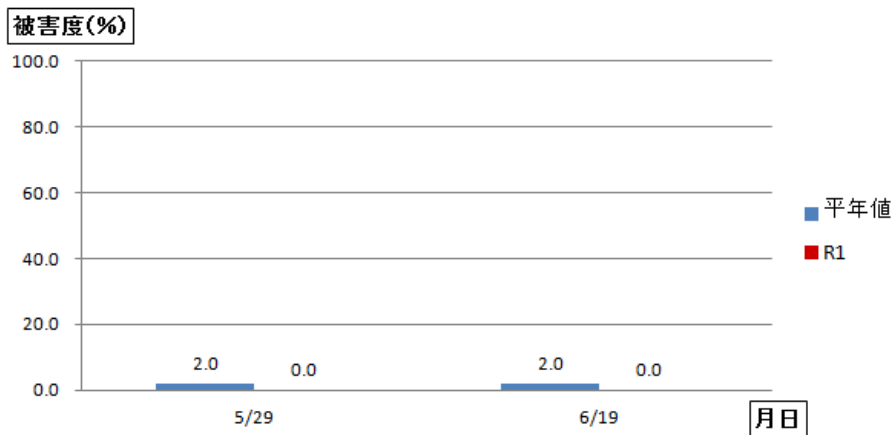
※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

イネミズゾウムシ



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

イネドロオウムシ



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成26～30年の5年間の平均値

○生育調査結果について

【生育状況：過去5カ年の平均値との比較】

草丈はやや低く、茎数はやや少なく、葉色は淡くなっています。

【今後の管理上の注意点】

今後の管理は「中干し」になります。調査ほ場では概ね茎数（「コシヒカリ」の中干しの目安：茎数 330 本/m²）が確保されていますので、中干しを行って下さい。梅雨に入りましたので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻（排水口）を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

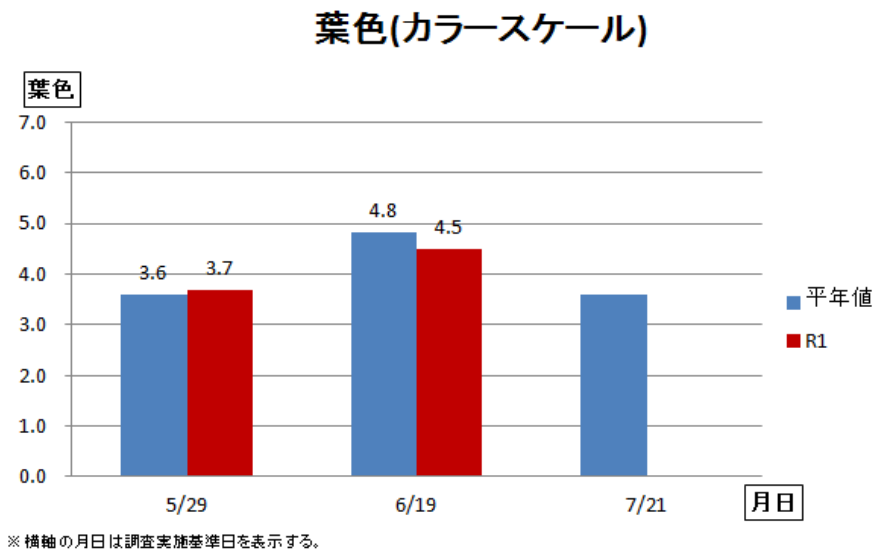
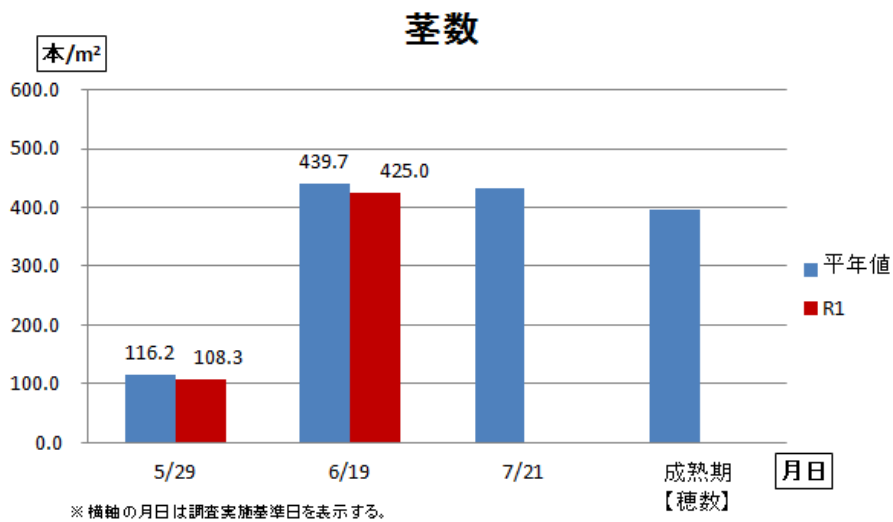
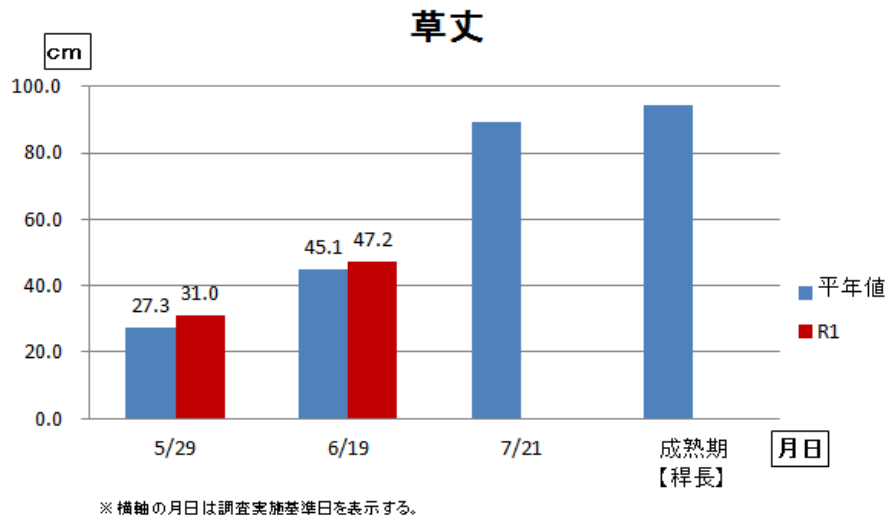
○病害虫発生調査結果について

イネミズゾウムシ、イネドロオイムシとも発生が見られていません。例年いもち病の発生が見られているようなので、梅雨時期ですので発生に注意して下さい。

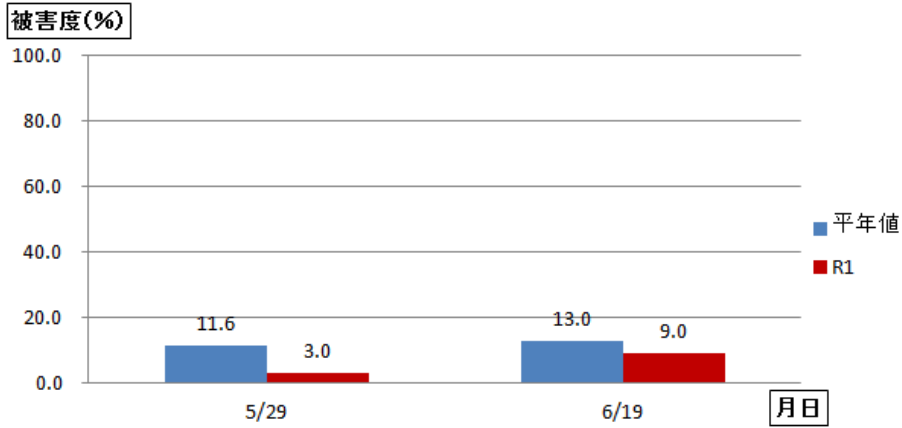
今後、斑点米カメムシ類の耕種的防除として、畦畔のイネ科雑草が穂をつけないよう除草することが有効です。ただし、水田内への追い込みを避けるため、水稻が出穂する 2 週間前までに除草を完了させて下さい。

2) 茨城町の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月12日	6月20日

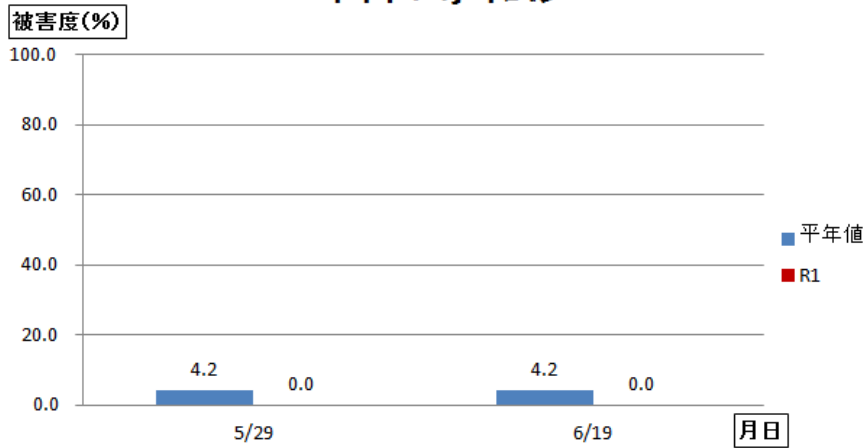


イネミズゾウムシ



※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

イネドロオウムシ



※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成 26～30 年の 5 年間の平均値

○生育調査結果について

【生育状況：過去5カ年の平均値との比較】

草丈、茎数は平年並、葉色はやや淡くなっています。

【今後の管理上の注意点】

茎数が平年並となっていますが、「コシヒカリ」の中干しの目安：茎数 330 本/m²が確保されていますので、速やかに中干しを開始してください。

これからは梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻（排水口）を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病害虫発生調査結果について

イネドロオイムシの発生はなく、イネミズゾウムシの発生が少程度見られていますが、問題はないと思われます。例年いもち病の発生が見られているようなので、梅雨時期ですので発生に注意して下さい。

今後、斑点米カメムシ類の耕種的防除として、畦畔のイネ科雑草が穂をつけないよう除草することが有効です。ただし、水田内への追い込みを避けるため、水稻が出穂する2週間前までに除草を完了させて下さい。

2. 次回調査予定日

7月22日

茨城県農業共済組合連合会調べ
協力：茨城県農業総合センター